

**HT-4559-702/702E/705/705E**

**HT-4559-922/925**

**ソフトウェア&ユーティリティ  
ユーザーズガイド**

**Macintosh 版  
プリンタドライバ編**



Adobe® PostScript® 3™

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・操作を行なう前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・このマニュアルはいつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。



## 来歴表

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
00	初版ー全ページ	2003年7月
01	表紙、iii(01)、3-2(01)、3-3(01)、3-6(01)	2004年10月
02	表紙、iii(02)	2005年1月
03	表紙、iii(03)、第3章全面改定	2007年7月
04	・社名変更 表紙、iii(04)、3-2(03)、3-3(03)	2013年10月
05	・HT-4559-702E/HT-4559-705Eの記載追加 表紙、ii(01) ・社名変更 表紙、iii(05)	2014年04月

## はじめに

このマニュアルは、以下のプリンタに添付される「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の使用方法、Macintosh 版プリンタドライバのインストール方法および操作方法について説明しています。

ご使用のプリンタが HT-4559-702E または HT-4559-705E の場合は、HT-4559-702 または HT-4559-705 用プリンタドライバをご使用ください。

モデル名	形名
HT-4559-702/702E (日本語 2 書体版)	LB070BKT
HT-4559-705/705E (日本語 5 書体版)	LB070BKT
HT-4559-922 (日本語 2 書体版)	LB092AKT
HT-4559-925 (日本語 5 書体版)	LB092AKT



注意

- ・操作を行う前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- ・このマニュアルは必要なときすぐ参照できるよう、使いやすい場所に保管してください。
- ・このマニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
- ・本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。

# 商標について

Copyright (c) 2014 Ricoh Company, Ltd.  
All Rights Reserved.

このマニュアルおよびマニュアル中に記載されている内容は株式会社リコーによりすべての著作権が保存されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複写、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語に翻訳することはできません。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴ、AdobePS、Acrobat、PageMaker、Adobe Illustrator は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標もしくは商標です。

Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS、MS は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、TrueType、AppleTalk、EtherTalk は米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet (イーサネット) はゼロックス社の商標です。

リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101 は株式会社モリサワの商標です。

Quark、QuarkXPress は米国ならびに各国で登録された Quark, Inc. と Quark 関連会社の商標です。

その他、記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標もしくは商標です。

## 目次

## 第1章 ご使用の前に

- 1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について . . . . . 1-2
- 1.2 プリンタドライバについて . . . . . 1-2
  - 1.2.1 Macintosh 版プリンタドライバの動作環境 . . . . . 1-2

## 第2章 Mac OS 8.x/9.x からの印刷

- 2.1 インストール前の準備 . . . . . 2-2
- 2.2 プリンタドライバのインストール . . . . . 2-3
- 2.3 プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール . . . . . 2-4
- 2.4 スクリーンフォントのインストール . . . . . 2-5
- 2.5 プリンタの選択 . . . . . 2-6
- 2.6 プリンタドライバの設定 . . . . . 2-7
  - 2.6.1 用紙設定 . . . . . 2-7
  - 2.6.2 プリント設定 . . . . . 2-8
- 2.7 プリンタ固有機能 . . . . . 2-9
- 2.8 カスタムサイズ用紙に印刷するには . . . . . 2-11
  - 2.8.1 AdobePS プリンタドライバでの設定 . . . . . 2-11
  - 2.8.2 QuarkXPress 4.x での設定 . . . . . 2-12
  - 2.8.3 QuarkXPress 3.x での設定 . . . . . 2-13
  - 2.8.4 PageMaker での設定 . . . . . 2-14

## 第3章 Mac OS X からの印刷

- 3.1 プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール . . . . . 3-2
- 3.2 プリンタの追加 . . . . . 3-4
  - 3.2.1 AppleTalk プリンタの追加 . . . . . 3-4
  - 3.2.2 IP プリンタの追加 . . . . . 3-6
- 3.3 プリンタドライバの設定確認および変更方法 . . . . . 3-8
- 3.4 アプリケーションソフトからの印刷 . . . . . 3-10
  - 3.4.1 ページ設定 . . . . . 3-10
  - 3.4.2 プリント設定 . . . . . 3-11
- 3.5 プリンタの機能 . . . . . 3-12
- 3.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには . . . . . 3-14

# 第 1 章

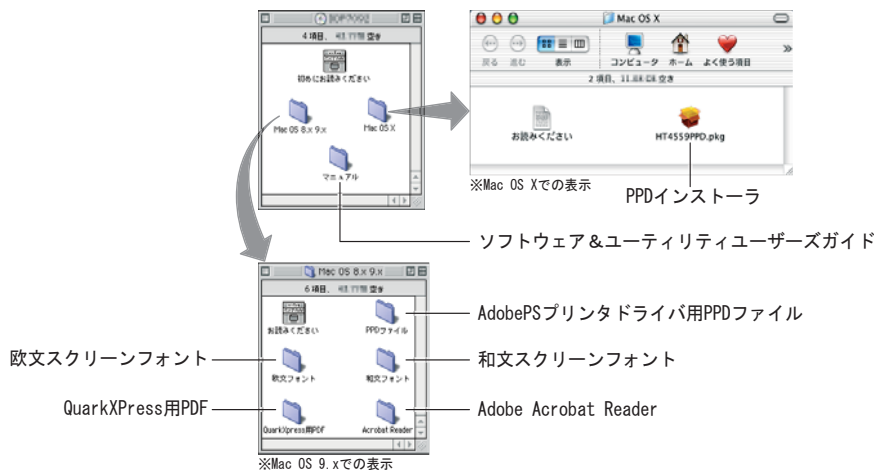
## ご使用の前に

OG	B	00	
----	---	----	--

# 第1章 ご使用前に

## 1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMには、次のようなソフトウェアやユーティリティが格納されています。



**参考** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMは、Windows/UNIX用のISO9660フォーマットと、Mac OS用のHFSフォーマットを持ったハイブリッド形式で記録されています。このためWindows/UNIXが動作するコンピュータではCD-ROMのWindows/UNIX用の領域が、MacintoshではCD-ROMのMac OS用の領域がそれぞれ自動的に読み出されます。

**注意** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM内の“Readme.doc”または“初めにお読みください”ファイルには、このユーザーズガイドに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ等の使用上の注意事項が記述されています。「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMに格納されているソフトウェアやユーティリティをご使用前に必ずお読みください。  
また、QuarkXPress用PDFについては、「Mac OS 8.x 9.x」フォルダ内の“お読みください”をご覧ください。

## 1.2 プリンタドライバについて

WindowsやMac OSなどの基本ソフトが動作するコンピュータからご購入のプリンタに印刷するためには、“プリンタドライバ”と呼ばれるソフトウェアが必要となります。

### 1.2.1 Macintosh版プリンタドライバの動作環境

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMに格納されているプリンタドライバは、以下の基本ソフトが動作するコンピュータに組み込むこと (= インストール) ができます。

- ◇日本語版 Mac OS 8.x/Mac OS 9.x
- ◇日本語版 Mac OS X v10.2.x 以降

**ポイント** 印刷を行うコンピュータには、コンピュータ上で動作している基本ソフトの種類に応じて、個々にプリンタドライバをインストールします。

**参考** プリンタドライバは、コンピュータの基本ソフト上で動作するソフトウェアですが、次のような役割があります。

- (1) 印刷可能な用紙サイズやプリンタに搭載されているフォントなどのプリンタ情報を、アプリケーションソフトに伝達する。
- (2) 用紙サイズの選択やステーブル位置の指定など、プリンタ固有の機能を利用できるようにユーザインタフェースを提供する。
- (3) アプリケーションソフトから印刷が指示されると、アプリケーションソフト上の文書データを、PostScriptなどのプリンタで処理可能な印刷データに変換する。



## 第 2 章

### Mac OS 8. x/9. x からの印刷

OG	B	00	
----	---	----	--

## 第2章 Mac OS 8.x/9.xからの印刷

本章では、Macintosh用プリンタドライバ（AdobePS）のインストール方法とプリンタドライバの設定方法について説明します。

### 2.1 インストール前の準備

Macintoshからご購入のプリンタに印刷するためには、お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。

ご使用のMacintoshにAdobePSプリンタドライバをインストールするには次のものが必要となります。

- ◇ AdobePSプリンタドライバ（バージョン8.6以降）
- ◇ ご購入のプリンタ用PPD（PostScript Printer Description）ファイル



注意

製品添付のCD-ROMにはAdobePSプリンタドライバは含まれておりません。AdobePSプリンタドライバは、アドビシステムズ社のホームページ（<http://www.adobe.co.jp>）からダウンロードするなどしてご用意ください。ご購入のプリンタ用PPDファイルは「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMに格納されています。



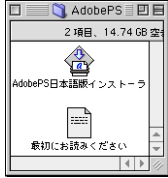
ポイント

プリンタドライバのインストールをはじめる前に、AdobePSプリンタドライバ添付の「最初にお読みください」をご覧ください。AdobePSプリンタドライバのバージョンによりシステム要件が異なります。

## 2.2 プリンタドライバのインストール

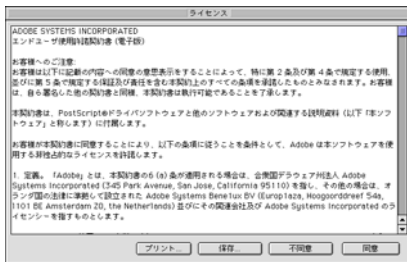
Macintosh を起動した状態から、AdobePS プリンタドライバのインストール方法を説明します。インストール手順は、AdobePS プリンタドライバの Ver. 8.7.2 をもとに説明します。

- 1** AdobePS プリンタドライバのフォルダを開き、[AdobePS 日本語版インストーラ] アイコンを表示します。



- 2** [AdobePS 日本語版インストーラ] アイコンをダブルクリックすると、「AdobePS 日本語版インストーラ」が起動しますので [続行] ボタンをクリックします。

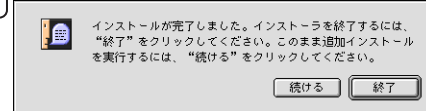
- 3** [エンドユーザ使用許諾契約] に関する画面が表示されます。使用許諾に合意する場合は、[同意] ボタンをクリックしてください。



- 4** [インストールの場所] を選択後、[インストール] ボタンをクリックします。インストールが開始されます。



- 5** [終了] ボタンをクリックします。



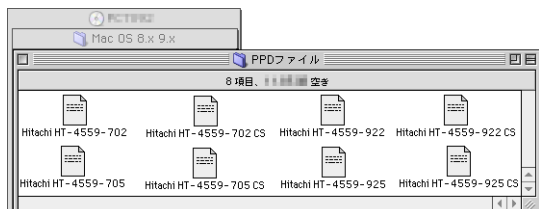
以上でAdobePSプリンタドライバのインストールは終了しました。次にプリンタ記述 (PPD) ファイルのインストールを行います。

## 2.3 プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール

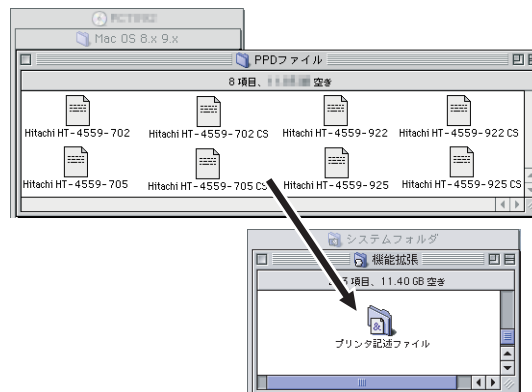
Macintosh を起動した状態から、プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール方法を説明します。

**!** AdobePS プリンタドライバでプリンタの固有機能を利用するには、プリンタ記述 (PPD) ファイルをインストールする必要があります。

- 1** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の [Mac OS 8.x 9.x] → [PPD ファイル] フォルダを開きます。



- 2** ご購入のプリンタに対応する PPD ファイルを、システムフォルダの [機能拡張] → [プリンタ記述ファイル] フォルダ内にコピーします。プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションの組み合わせをご確認ください。



プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー



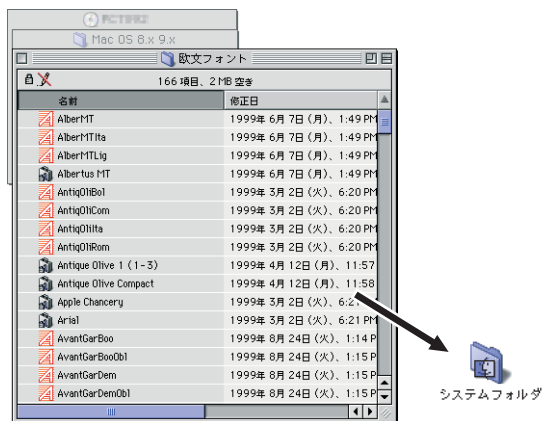
- プリンタ記述 (PPD) ファイルをバージョンアップする場合は、次の操作も行ってください。
- (1) システムフォルダの [初期設定] → [プリント初期設定] → [解析済み PPD フォルダ] を開きます。
  - (2) [解析済み PPD フォルダ] の中に新しい PPD ファイルと同一名称のファイルがある場合は、PPD ファイルと同一名称のファイルを [ゴミ箱] に移動します。さらにデスクトッププリンタ (バージョンアップ対象のプリンタのみ) も [ゴミ箱] に移動します。
- ※ [解析済み PPD フォルダ] の中に新しい PPD ファイルと同一名称のファイルがない場合は、(2) の操作は不要です。
- (3) Macintosh を再起動します。
  - (4) [セレクタ] からプリンタの再選択を行います。

## 2.4 スクリーンフォントのインストール

Macintoshからプリンタ搭載フォントを使った印刷をするには、Macintoshのシステムにスクリーンフォントをインストールする必要があります。以下の手順で欧文 / 和文スクリーンフォントをインストールしてください。

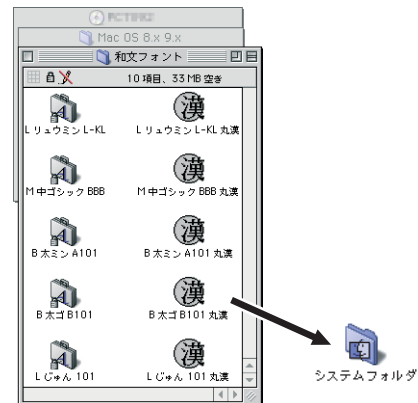
**1** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMの  
[Mac OS 8.x 9.x] → [欧文フォント] フォルダを開きます。

**2** すべてのファイルを選択し、システムフォルダアイコン上にドラッグします。確認のダイアログボックスが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



**3** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMの  
[Mac OS 8.x 9.x] → [和文フォント] フォルダを開きます。

**4** ご購入のプリンタに搭載されている和文フォントに対応するフォントファイルをすべて選択し、システムフォルダアイコン上にドラッグします。確認のダイアログが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



**5** Macintosh を再起動します。  
これでスクリーンフォントのインストールは終了です。

## 2.5 プリンタの選択

プリンタドライバのインストール後、使用するプリンタを選択します。

- 1 プリンタとMacintoshをネットワークに接続して、それぞれの電源を入れます。
- 2 アップルメニューから[セレクタ]を選択し、[AdobePS]アイコンをクリックします。

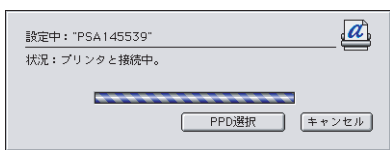


- 3 [PostScript プリンタの選択] リストに接続可能なプリンタの一覧が表示されます。ここでご購入のプリンタを選択します。

**ポイント** 工場出荷時のプリンタ名はPSAXXXXX (XXXXXXはネットワークアドレスの下6桁)となっています。ネットワークアドレスは、プリンタ本体の操作パネルで[インフォメーション] → [ネットワーク]を選択して表示される内容をご確認ください。

**ポイント** [PostScript プリンタの選択] リストにプリンタ名が表示されない場合は、[コントロールパネル]の[AppleTalk]の設定をご確認ください。通常は“Ethernet”でプリンタと接続します。また、[セレクタ]の[AppleTalk]項目は[使用]にします。

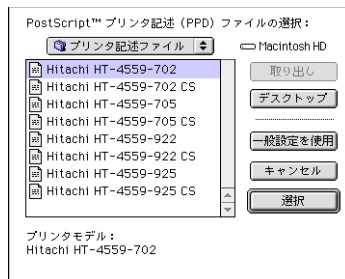
- 4 [作成] ボタンをクリックすると、プリンタと通信が行われます。しばらくして通信が正常に終了すると、PPDファイルが自動選択されてデスクトッププリンタが作成されます。



- 5 [セレクタ] を閉じます。

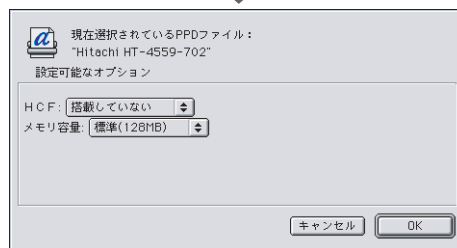
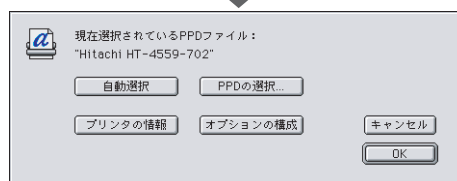
**ポイント** 通信がなかなか終了しない場合は、プリンタが“オンライン”になっているかどうかをご確認ください。プリンタと通信を行うときはプリンタが“オンライン”状態でなければなりません。

**ポイント** プリンタが“オンライン”状態であるにもかかわらず通信がなかなか終了しない場合は、[PPD 選択] ボタンをクリックします。



システムフォルダの[機能拡張] → [プリンタ記述ファイル]フォルダから、ご購入のプリンタに対応するプリンタ記述(PPD)ファイルを選択します。ご購入のプリンタとプリンタ記述(PPD)ファイルとの対応については、「2.3 プリンタ記述(PPD)ファイルのインストール」をご覧ください。

**参考** プリンタのオプション構成を再設定する場合は、[セレクタ]でご利用のプリンタを選択して[再設定]ボタンをクリックし、さらに[オプションの構成]ボタンをクリックします。



## 2.6 プリンタドライバの設定

作成した文書をアプリケーションソフトから印刷するには、用紙設定、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。以下の項では、プリンタドライバの設定について説明します。

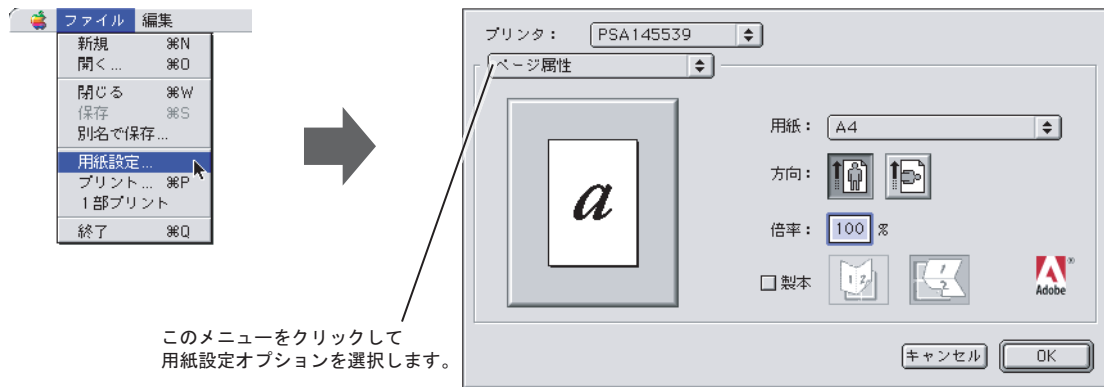


注意

アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバの設定ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定等については、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

### 2.6.1 用紙設定

ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択することにより、用紙設定ダイアログを開くことができます。



ポイント

用紙設定の各オプションについては、AdobePS プリンタドライバ添付の書類や、バールヘルプ（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、カスタムページ設定については「[2.8 カスタムサイズ用紙に印刷するには](#)」をご覧ください。



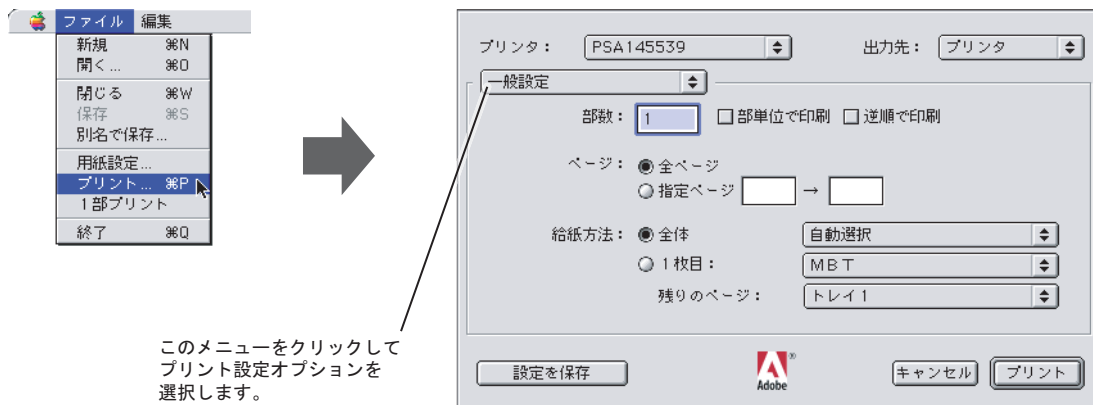
注意

用紙サイズの [Ledger] (11x17 inch) と [SuperB] (12x18 inch) については、製品仕様の名称とは異なり、次の名称が画面表示されます。

- (製品仕様) Ledger → (画面表示) Tabloid
- (製品仕様) SuperB → (画面表示) 12x18

## 2.6.2 プリント設定

アプリケーションソフトからの印刷では、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル]メニューの[プリント]を選択することで印刷ダイアログを開くことができます。



**ポイント** プリント設定の各オプションについては、AdobePS プリンタドライバ添付の書類や、バルーンヘルプ（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、プリンタ固有機能については「[2.7 プリンタ固有機能](#)」をご覧ください。

**ポイント** [給紙方法] について  
用紙を給紙するトレイを選択します。[自動選択] の場合は [用紙サイズ] [用紙の種類] [用紙の向き] の指定にマッチしたトレイが選択されます。  
[MBT] から給紙する場合は、プリンタの操作パネルで次の設定を行ってください。

- (1) [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] → [MBT] で、MBT にセットした用紙サイズを設定する。
- (2) [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

**ポイント** プリント設定ダイアログの設定内容を保存するには、[設定を保存] ボタンをクリックします。




**注意**

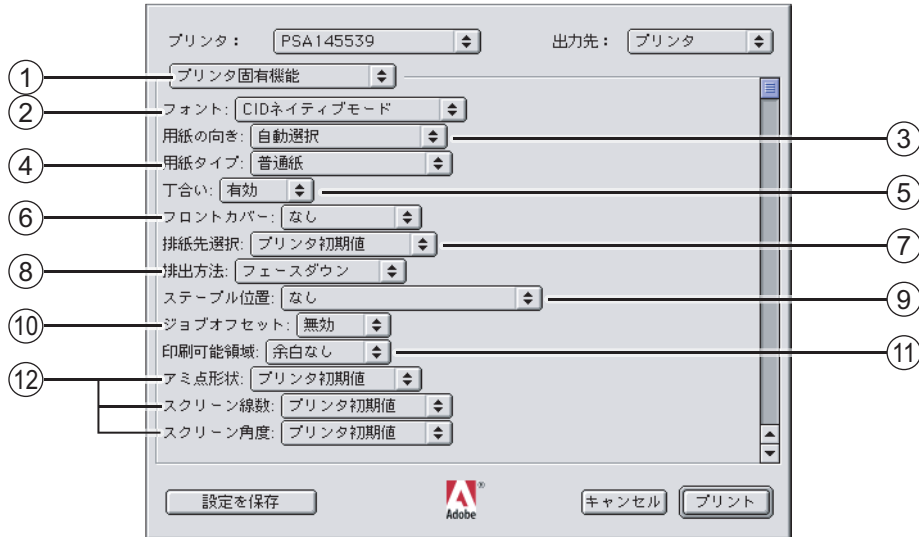
[一般設定] の [部単位で印刷] のチェックは外してください。また、アプリケーションソフトによっては、独自に [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスを表示するものがあります。これらのチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に働きません。これらのチェックを外して印刷を行っても、[プリンタ固有機能] → [丁合い] の設定が “有効” (初期値) であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。



## 2.7 プリンタ固有機能

プリンタ固有機能の設定項目について説明します。

 下図は、すべての項目が見えるように画像修正してあり、プリンタモデルごとに表示内容は異なります。また、下図の設定値は、プリンタドライバインストール時の初期値です。



① **プリンタ固有機能オプション**  
[プリンタ固有機能] ダイアログを表示します。ドロップダウンメニューより、別の印刷ダイアログを表示することもできます。

② **フォント**  
通常は [CID ネイティブモード] を選択します。OCF フォントを使用する場合や文字の印刷に関して問題が発生した場合には [OCF コンパチブルモード] へ切り替えてください。

③ **用紙の向き**  
通常は [自動選択] で印刷を行ってください。  
給紙トレイに用紙をセットする場合、[用紙の向き] に着目すると次の2つの種類に分けられます。

- ・用紙の長い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (LEF : Long Edge Feed)
- ・用紙の短い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (SEF : Short Edge Feed)

A4 と Letter は LEF/SEF どちらの向きでもセットできますが、その他の用紙サイズについては LEF または SEF のどちらか一方の向きに限定されます。

④ **用紙タイプ**  
印刷する用紙の種類を選択します。トレイにセットした用紙の種類をご確認の上、指定してください。

⑤ **丁合い**  
[有効] を選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。[無効] を選択すると、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。



**注意**


アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に働きません。

⑥ **フロントカバー**  
給紙トレイを指定すると、文書の先頭にカバーシートを挿入します。

⑦ **排紙先選択**  
用紙の排紙先を選択します。

⑧ 排出方法


[フェースアップ] を選択すると、片面印刷時に印刷面が上向きとなるように用紙を排紙します。

 用紙送り方向に対して長さが9inch (228.6mm) を超える用紙は [フェースアップ] で排紙することができないか推奨されていません。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

⑨ ステープル位置

[エレベータトレイ] に排紙するとき、用紙縁面中央2箇所、用紙コーナー1箇所のいずれかを選択します。

設定値	ステープル位置
印刷の向き (縦) 左上	
印刷の向き (縦) 右上	
印刷の向き (縦) 左中央 (LEF)	
印刷の向き (縦) 右中央 (LEF)	
印刷の向き (縦) 上中央 (SEF)	
印刷の向き (横) 左上	
印刷の向き (横) 右上	
印刷の向き (横) 上中央 (LEF)	
印刷の向き (横) 左中央 (SEF)	
印刷の向き (横) 右中央 (SEF)	

 ステープル位置は、文書の印刷の向き (縦／横)、用紙サイズ、用紙の向き (LEF / SEF) などの設定により異なります。

⑩ ジョブオフセット


[有効] を選択すると、印刷ジョブ単位、部単位でのオフセット排紙を行います。

⑪ 印刷可能領域

[余白なし] を選択すると、用紙全面に縁なしで印刷することが可能になります。[余白あり] を選択すると、用紙縁面の印刷保証領域外の部分には印刷を行いません。

⑫ アミ点形状、スクリーン線数、スクリーン角度

ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。[スクリーン線数] [スクリーン角度] で [プリンタ初期値] 以外の値を指定するには、まず [アミ点形状] で [プリンタ初期値] 以外の形状を選択してください。

 スクリーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンタ解像度との相互関係により変化します。このため、[スクリーン線数] [スクリーン角度] の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバでの [アミ点形状] [スクリーン線数] [スクリーン角度] の指定を無効にするものがあります。

## 2.8 カスタムサイズ用紙に印刷するには

**!** **ポイント** プリンタの操作パネルで次の設定を行ってください。

- ・ [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] で、カスタム用紙のサイズを設定する。
- ・ [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

### 2.8.1 AdobePS プリンタドライバでの設定

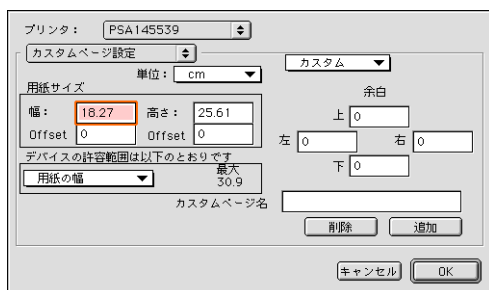
**1** アプリケーションソフトから [ファイル] → [用紙設定] を選択します。



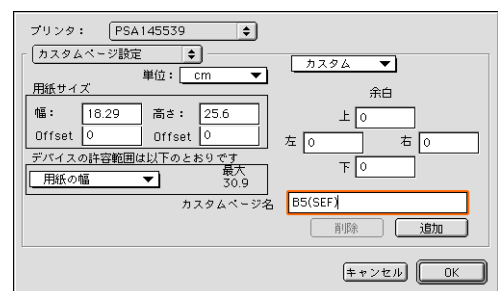
**2** [カスタムページ設定] を選択します。



**3** 用紙サイズの [幅] と [高さ] を入力します。



**4** [カスタムページ名] に任意の用紙サイズ名称を入力します。[追加] ボタンをクリックすると、用紙サイズの一覧にカスタムページ名が追加されます。



**5** [ページ属性] を選択して、[用紙] リストから追加したカスタムページ名を選択します。必要に応じて [方向] を指定します。

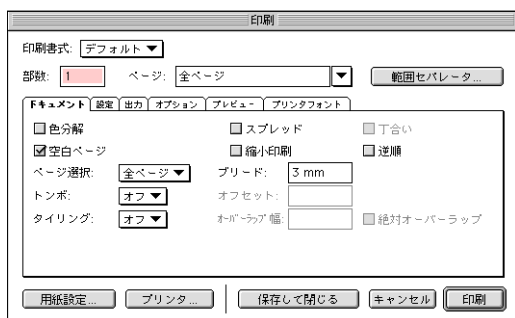


**6** [OK] ボタンをクリックして用紙設定ダイアログを閉じます。

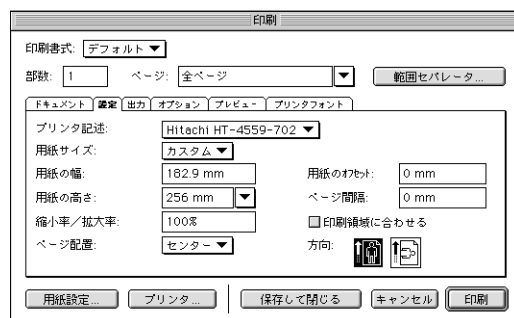
**!** **ポイント** カスタムサイズ用紙の短辺の長さを [幅]、長辺の長さを [高さ] として入力します。

## 2.8.2 QuarkXPress 4.x での設定

**1** [ファイル] → [印刷] を選択します。



**4** [用紙サイズ] で [カスタム] を選択し、[用紙の幅] と [用紙の高さ] を入力します。



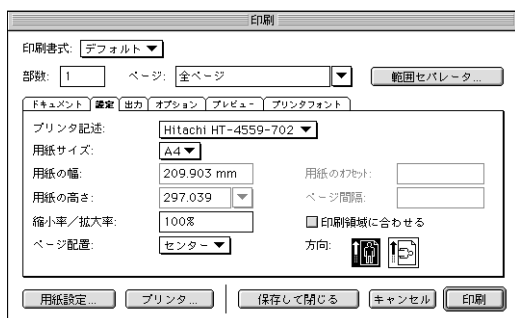
**2** [用紙設定] ボタンをクリックして、「2.8.1 AdobePS プリンタドライバでの設定」にしたがってカスタム用紙の設定を行います。



**!** カスタムサイズ用紙の短辺の長さを [用紙の幅]、長辺の長さを [用紙の高さ] として入力します。また、必要に応じて [方向] を指定します。

**参考** [プレビュー] タブをクリックすると、[用紙サイズ] と [ドキュメントサイズ] の指定内容を確認することができます。その他の設定メニューに関しては QuarkXPress のマニュアルをご覧ください。

**3** [設定] タブをクリックして、[プリンタ記述] リストからご購入のプリンタに対応したプリンタ記述 (PPD) ファイルを選択します。



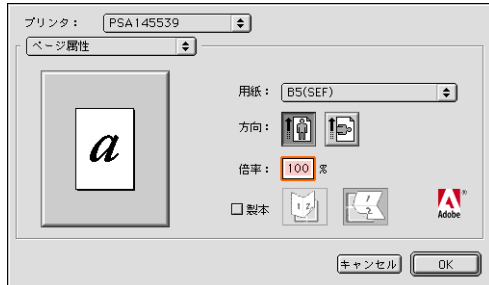
**5** [プリンタ] ボタンをクリックして、プリント設定を行います。

**6** すぐに印刷を行う場合は [印刷] ボタンをクリックします。また、ダイアログを閉じる場合は [保存して閉じる] ボタンをクリックします。

## 2.8.3 QuarkXPress 3. x での設定

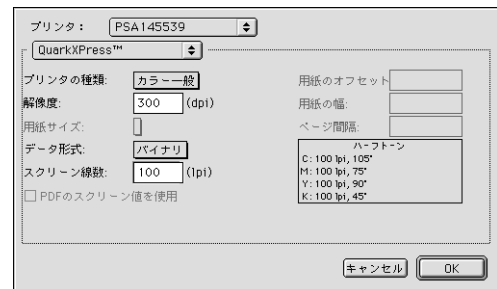
1 [ファイル] → [用紙設定] を選択します。

2 「2.8.1 AdobePS プリンタドライバでの設定」にしたがってカスタム用紙の設定を行います。



3 リストから [QuarkXPress] を選択します。

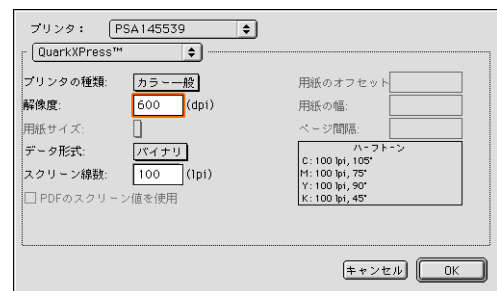
4 [プリンタの種類] で [白黒一般] または [カラー一般] を選択します。



注意

[白黒一般] または [カラー一般] 以外を選択すると、カスタムサイズの用紙に印刷することができません。

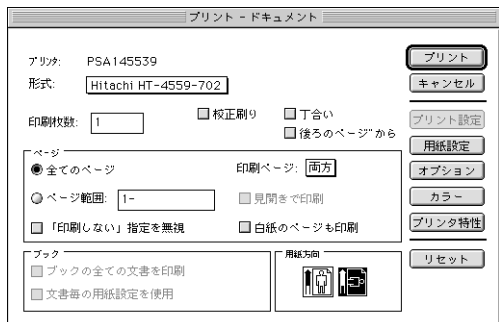
5 [解像度] に “600” を入力します。



6 [OK] ボタンをクリックして用紙設定ダイアログを閉じます。

## 2.8.4 PageMakerでの設定

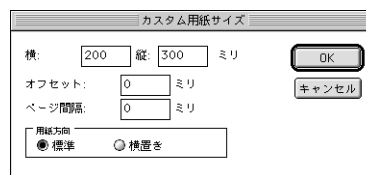
**1** [ファイル] → [プリント] を選択して、[形式] リストからご購入のプリンタに対応したプリンタ記述 (PPD) ファイルを選択します。



**2** [用紙設定] ボタンをクリックして、[サイズ] から [カスタム] を選択します。



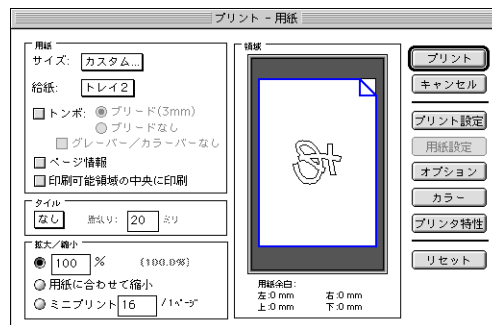
**3** カスタム用紙の [横] と [縦] の長さを入力します。



**ポイント** まず [用紙方向] を [標準] にします。次に、カスタムサイズ用紙の短辺の長さを [横]、長辺の長さを [縦] として入力します。

**4** [OK] ボタンをクリックします。

**5** プレビュー表示を参考に [用紙設定] をします。



**6** [プリンタ特性] ボタンをクリックして、プリンタ固有機能の設定を行います。設定内容については、[2.7 プリンタ固有機能](#) を参考にしてください。

**参考** その他の設定メニューに関してはPageMakerのマニュアルをご覧ください。

## 第 3 章

# Mac OS X からの印刷

## 第3章 Mac OS X からの印刷

本章では、Mac OS X 標準 PostScript プリンタドライバのインストール方法とプリンタドライバの設定方法について、Mac OS X v10.2.6 をもとに説明します。



Mac OS X v10.0、Mac OS X v10.1 には対応しておりません。  
Mac OS X のバージョンは v10.2.6 以降にアップデートすることをおすすめします。

### 3.1 プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール

Mac OS X 標準 PostScript プリンタドライバ用プリンタ記述 (PPD) ファイルをインストールします。



インストールする際、管理者の名前とパスワードが必要になります。



インストーラを起動する前に「プリントセンター」が起動していないことを確認してください。もし起動している場合には、「プリントセンター」を終了してからインストールを開始してください。

- 1** 「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし、[Mac OS X] フォルダを開きます。

- 2** 「HT4559PPD.pkg」ファイルをダブルクリックするとインストーラが起動します。



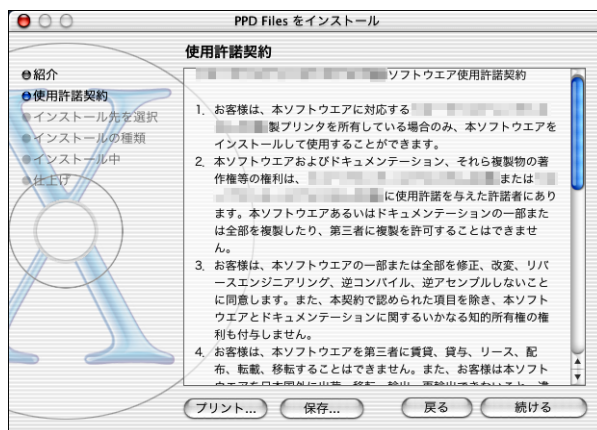
- 3** 管理者名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- 4** 「続ける」をクリックします。

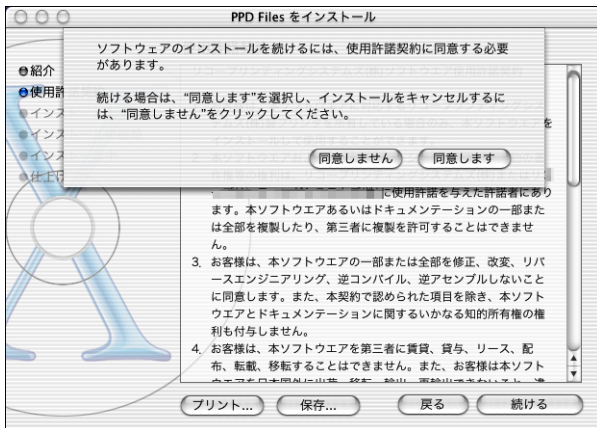


- 5** 「使用許諾契約」をよく読み、「続ける」をクリックします。





- 6** [使用許諾契約] に同意するかどうかの画面が表示されます。使用許諾に合意する場合は、[同意します] をクリックします。



- 参考** 再インストールおよびアップグレードの際は、下図の表示になります。



- 7** インストール先を選択し、[続ける] をクリックします。



- 9** 「ソフトウェアが正常にインストールされました」というメッセージが表示されたら、[閉じる] をクリックします。



- 8** [インストール] をクリックします。



これで PPD ファイルのインストールは終了です。

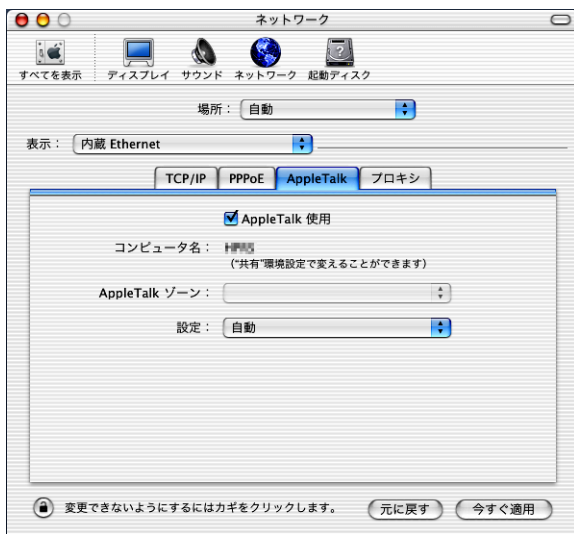
## 3.2 プリンタの追加

Mac OS X にプリンタを追加する手順について説明します。

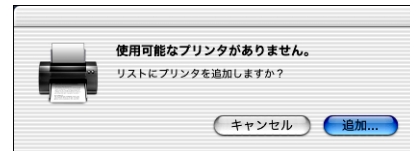
**!** **ポイント** ご使用のプリンタを Mac OS X に追加するには、[AppleTalk プリンタ] または [IP プリンタ] として設定する方法があります。どちらをお使いになるかは、ネットワーク管理者にご相談ください。

### 3.2.1 AppleTalk プリンタの追加

- 1** [システム環境設定] → [ネットワーク] → [AppleTalk] を開きます。[AppleTalk 使用] が選択されていることをご確認ください。



- 参考** 使用可能なプリンタがない場合、下記ダイアログが表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



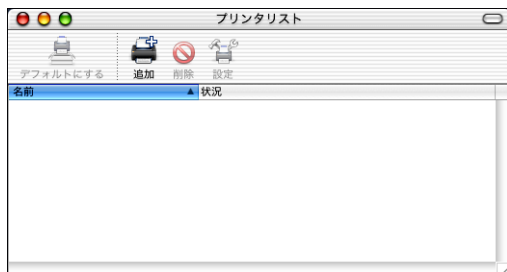
- 4** 一番上のメニューをクリックし、[AppleTalk] を選択します。



- 2** 起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。



- 3** [追加] をクリックします。



- 5** [文字セット] メニューをクリックし、[日本語] を選択します。



**6** プリンタを選択します。



**ポイント** 工場出荷時のプリンタ名は PSAXXXXX (XXXXXX はネットワークアドレスの下6桁) となっています。ネットワークアドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

**7** [プリンタの機種] メニューから [HITACHI] を選択します。



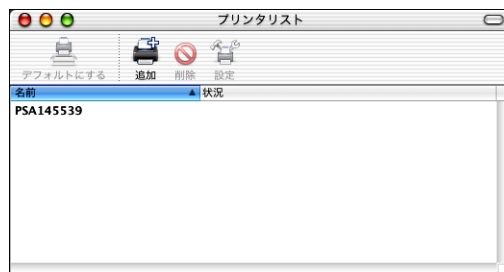
**注意** [自動選択] を使って PPD ファイルを設定するとご使用のプリンタとオプション構成が異なる PPD ファイルが選択されてしまうことがあります。

**8** [機種名] を選択して、[追加] ボタンをクリックします。プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションの組み合わせに注意して選択してください。



プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー

**9** [プリンタリスト] にプリンタが追加されます。



### 3.2.2 IP プリンタの追加

- 1** [システム環境設定] → [ネットワーク] → [TCP/IP] を開きます。IP アドレスなどが正しく設定されていることをご確認ください。



- 2** Web ブラウザを起動して、[IP プrint] 接続用の論理プリンタを新規追加します。[IP プrint] 接続用の論理プリンタを既に登録済みの場合は **3** に進みます。

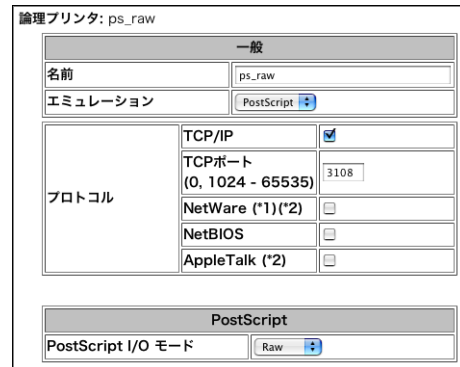


- 参考** 論理プリンタはプリンタ本体に設定するもので、“postscript” や “vp-pcl” などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。論理プリンタに関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」→「Web インターフェイス機能」をご覧ください。

- ポイント** [IP プrint] 接続用の論理プリンタの必須設定項目と設定例を示します。

一般 : [名前] → (論理プリンタ名を入力)  
 [エミュレーション] → [PostScript]  
 [プロトコル] → [TCP/IP] → (選択)  
 [プロトコル] → [TCPポート] → (空き番号を入力)

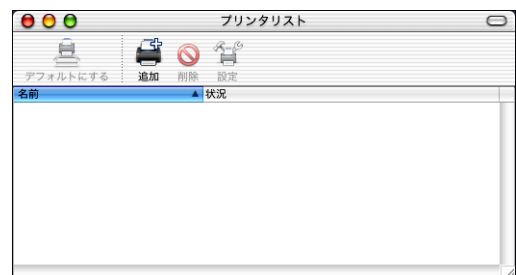
PostScript : [PostScript I/O モード] → [Raw]



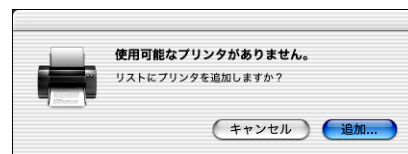
- 3** 起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。



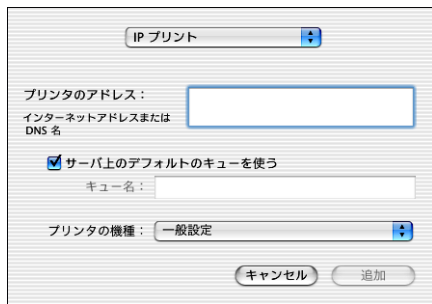
- 4** [追加] をクリックします。



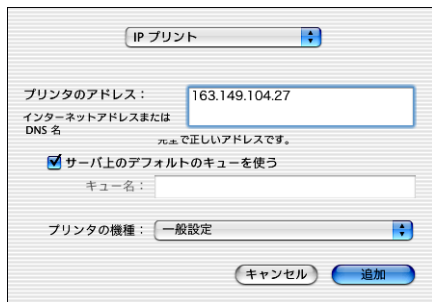
- 参考** 使用可能なプリンタがない場合、下記ダイアログが表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



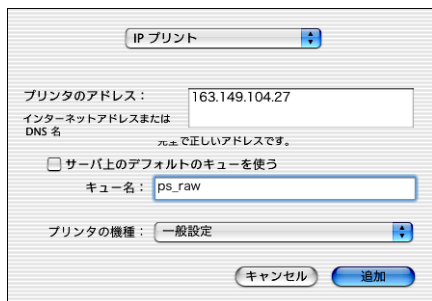
5 一番上のメニューをクリックし、[IP プリント] を選択します。



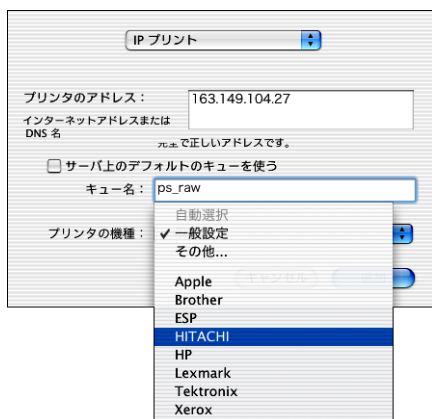
6 [プリンタのアドレス] にプリンタの IP アドレスを入力します。



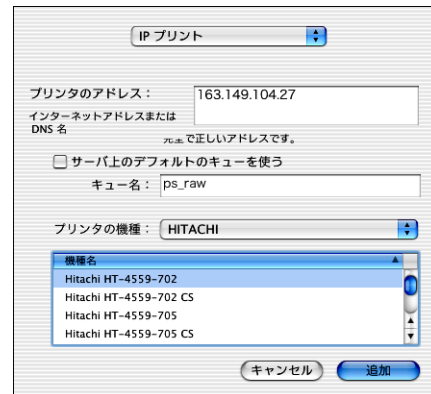
7 [サーバ上のデフォルトのキューを使う] のチェックを外し、[キュー] 名に [IP プリント] 接続用の論理プリンタ名を入力します。2 の例では、論理プリンタ名は “ps\_raw” となります。



8 PPD ファイルを選択します。[プリンタの機種] メニューから [HITACHI] を選択します。

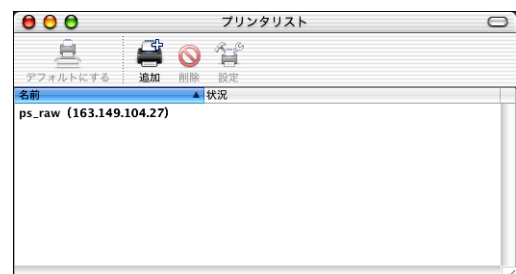


9 [機種名] を選択して、[追加] ボタンをクリックします。プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションの組み合わせに注意して選択してください。



プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台
		コンテナスタック2台
		コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー

10 [プリンタリスト] にプリンタが追加されます。

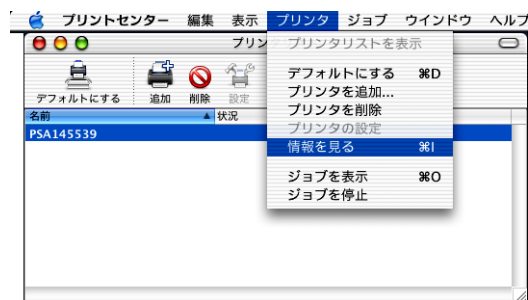


### 3.3 プリンタドライバの設定確認および変更方法

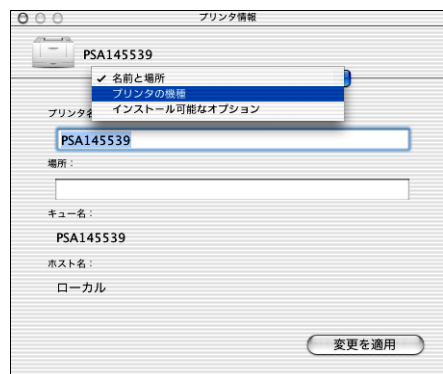
Mac OS X に追加したプリンタに正しく PPD ファイルが設定されているか確認する方法、およびプリンタオプションの設定方法を説明します。

**1** 起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。

**2** お使いになるプリンタ名を選択し、[プリンタ] → [情報を見る] を選択します。



**3** 一番上のメニューから [プリンタの機種] を選択します。



**4** [プリンタの機種] 下のメニューにお使いになるプリンタの機種名が表示されていることを確認します。

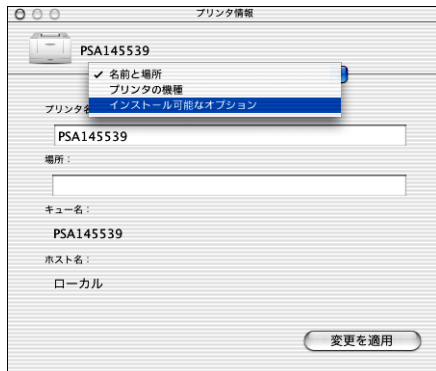


異なる名称が表示されている場合、同メニューで [HITACHI] を選択し、[機種名] を選択します。プリンタ本体、プリンタ内蔵の日本語書体数、フィニッシャーオプションの組み合わせに注意して選択してください。

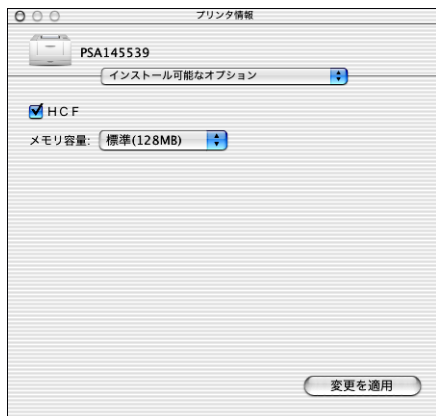


プリンタモデル	日本語書体数	フィニッシャー構成
Hitachi HT-4559-702	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705	5書体	
Hitachi HT-4559-702 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-705 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-922	2書体	スタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925	5書体	
Hitachi HT-4559-922 CS	2書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー
Hitachi HT-4559-925 CS	5書体	コンテナスタック1台 コンテナスタック2台 コンテナスタック1台とスタンダードフィニッシャー

- 5** 次にお使いになるプリンタのオプション設定を確認します。[プリンタ情報] ダイアログの一番上のメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。



- 6** 各項目を設定し、[変更を適用] ボタンをクリックします。



- 7** [ウィンドウ] → [閉じる] を選び、[プリンタ情報] ダイアログを閉じます。

- 8** [プリントセンター] → [プリントセンターを終了] を選択します。

## 3.4 アプリケーションソフトからの印刷

作成した文書をアプリケーションソフトから印刷するには、用紙設定、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。以下の項では、プリンタドライバの設定について説明します。

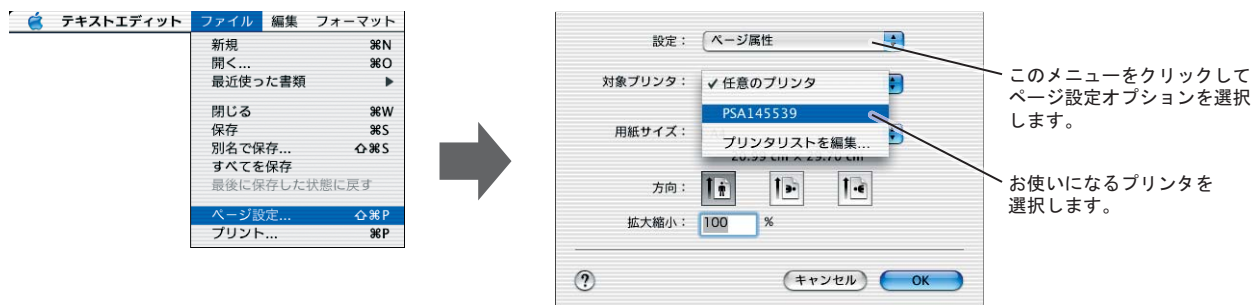


注意

アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバの設定ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定等については、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

### 3.4.1 ページ設定

ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル]メニューの[ページ設定]（または[用紙設定]）を選択することにより、ページ設定ダイアログを開くことができます。



ポイント

ページ設定の各オプションについては、Mac OS Xの[ヘルプ]（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、カスタム用紙サイズ設定については「[3.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには](#)」をご覧ください。



注意

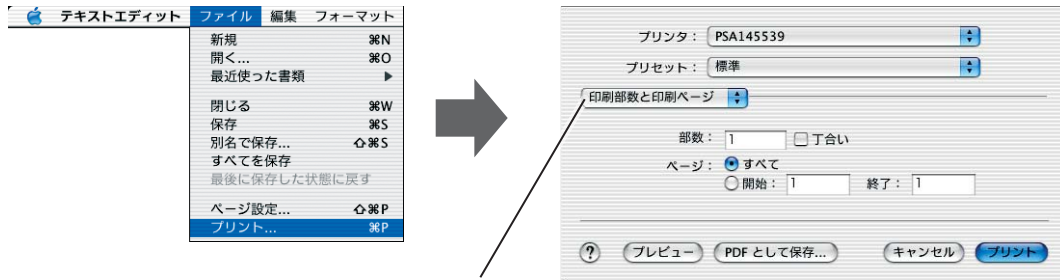
用紙サイズの[Ledger] (11x17 inch) と [SuperB] (12x18 inch) については、製品仕様の名称とは異なり、次の名称が画面表示されます。

(製品仕様) Ledger → (画面表示) Tabloid  
 (製品仕様) SuperB → (画面表示) 12x18



### 3.4.2 プリント設定

アプリケーションソフトからの印刷では、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル]メニューの[プリント]を選択することで印刷ダイアログを開くことができます。



このメニューをクリックして  
プリント設定オプションを  
選択します。

**ポイント** プリント設定の各オプションについては、Mac OS Xのヘルプ（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、プリンタ機能については「[3.5 プリンタの機能](#)」をご覧ください。

**ポイント** [給紙] について  
用紙を給紙するトレイを選択します。[自動選択]の場合は[用紙サイズ][用紙の種類][用紙の向き]の指定にマッチしたトレイが選択されます。  
[MBT] から給紙する場合は、プリンタの操作パネルで次の設定を行ってください。

- (1) [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] → [MBT] で、MBTにセットした用紙サイズを設定する。
- (2) [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を[ユウコウ]にする。

**ポイント** プリント設定ダイアログの設定内容を保存するには、[プリセット]メニューから[別名で保存]を選択します。




注意

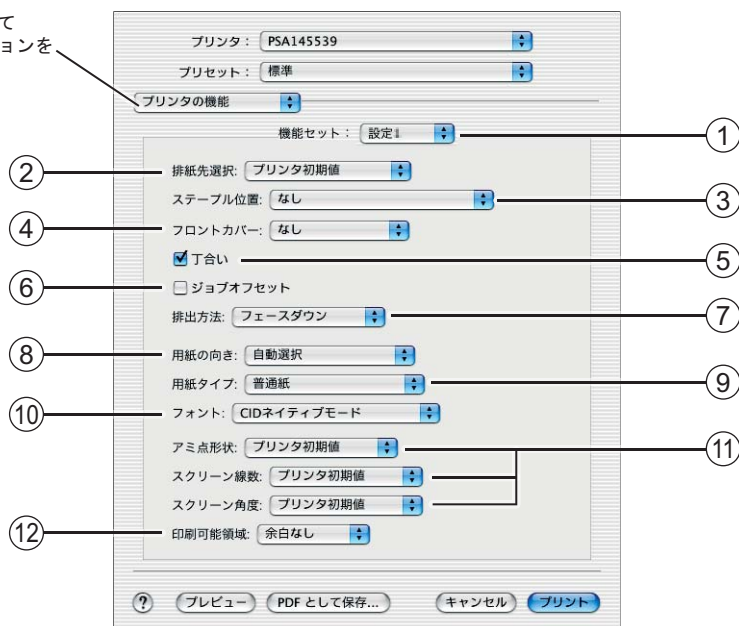
[印刷部数と印刷ページ]の[丁合い]のチェックは外してください。また、アプリケーションソフトによっては、独自に[部単位で印刷]や[丁合い]のチェックボックスを表示するものがあります。これらのチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステーブルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に動きません。  
これらのチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い]の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

### 3.5 プリンタの機能

[プリンタの機能] の設定項目について説明します。プリンタ固有の機能設定をここでを行います。

 下図は、すべての項目が見えるように画像修正してあり、プリンタモデルごとに表示内容は異なります。

このメニューをクリックして  
[プリンタの機能] オプションを  
選択します。



従来の Mac OS 対応プリンタドライバでは、お互いに組み合わせることができないオプション機能は同時に選択することができませんでした。しかし、Mac OS X 対応プリンタドライバでは、同時に組み合わせることもできないオプション機能もすべて選択できてしまいます。本来組み合わせできないプリンタ機能を選択した場合、正しく印刷されませんのでご注意ください。

- ① 機能セット  
[機能セット] の表示を切替えます。  
[機能セット] は、[設定 1] ~ [設定 4] にグループ分けされています。

- ② 排紙先選択  
用紙の排紙先を選択します。

- ③ ステープル位置  
[エレベータトレイ] に排紙するとき、用紙縁面中央 2 箇所、用紙コーナー 1 箇所のいずれかを選択します。

設定値	ステープル位置
印刷の向き (縦) 左上	
印刷の向き (縦) 右上	
印刷の向き (縦) 左中央 (LEF)	
印刷の向き (縦) 右中央 (LEF)	
印刷の向き (縦) 上中央 (SEF)	
印刷の向き (横) 左上	
印刷の向き (横) 右上	
印刷の向き (横) 上中央 (LEF)	
印刷の向き (横) 左中央 (SEF)	
印刷の向き (横) 右中央 (SEF)	

**ポイント** ステープル位置は、文書の印刷の向き（縦／横）、用紙サイズ、用紙の向き（LEF / SEF）などの設定により異なります。

#### ④ フロントカバー

給紙トレイを指定すると、文書の先頭にカバーシートを挿入します。

**参考** [インサータ] から用紙を給紙する場合は、プリンタの操作パネルで [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にしてください。

#### ⑤ 丁合い

チェックボックスを選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。チェックボックスを選択しない時は、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。



**注意**

アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブオフセットなどのオプション機能も正常に動きません。

#### ⑥ ジョブオフセット

チェックボックスを選択すると、印刷ジョブ単位、部単位でのオフセット排紙を行います。

#### ⑦ 排出方法

[フェースアップ] を選択すると、片面印刷時に印刷面が上向きとなるように用紙を排紙します。

**参考** 用紙送り方向に対して長さが9inch (228.6mm) を超える用紙は [フェースアップ] で排紙することができないか推奨されていません。詳しくは製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

#### ⑧ 用紙の向き

通常は [自動選択] で印刷を行ってください。給紙トレイに用紙をセットする場合、[用紙の向き] に着目すると次の2つの種類に分けられます。

- ・用紙の長い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (LEF : Long Edge Feed)
- ・用紙の短い辺から給紙するように用紙の向きをセットする (SEF : Short Edge Feed)

A4 と Letter は LEF/SEF どちらの向きでもセットできますが、その他の用紙サイズについては LEF または SEF のどちらか一方の向きに限定されます。

#### ⑨ 用紙タイプ

印刷する用紙の種類を選択します。トレイにセットした用紙の種類をご確認の上、指定してください。

#### ⑩ フォント

通常は [CID ネイティブモード] を選択します。OCF フォントを使用する場合や文字の印刷に関して問題が発生した場合には [OCF コンパチブルモード] へ切り替えてください。

#### ⑪ アミ点形状、スクリーン線数、スクリーン角度

ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。[スクリーン線数] [スクリーン角度] で [プリンタ初期値] 以外の値を指定するには、まず [アミ点形状] で [プリンタ初期値] 以外の形状を選択してください。



**ポイント** スクリーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンタ解像度との相互関係により変化します。このため、[スクリーン線数] [スクリーン角度] の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバでの [アミ点形状] [スクリーン線数] [スクリーン角度] の指定を無効にするものがあります。

#### ⑫ 印刷可能領域

[余白なし] を選択すると、用紙全面に縁なしで印刷することが可能になります。[余白あり] を選択すると、用紙縁面の印刷保証領域外の部分には印刷を行いません。

OG	B	01	
----	---	----	--

## 3.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには

**ポイント** プリンタの操作パネルで次の設定を行ってください。

- ・ [プリンタ設定] → [給紙トレイ] → [用紙サイズ] で、カスタム用紙のサイズを設定する。
- ・ [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にする。

プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

**1** アプリケーションソフトから [ファイル] → [ページ設定] (あるいは [用紙設定]) を選択します。

**2** [カスタム用紙サイズ] を選択します。



**3** [新規] ボタンをクリックし、任意の用紙サイズ名称を入力します。



**4** 用紙サイズの [幅] と [長さ] を入力し、[保存] をクリックします。[OK] ボタンをクリックすると、用紙サイズの一覧にカスタムページ名が追加されます。



**ポイント** カスタムサイズ用紙の短辺の長さを [幅]、長辺の長さを [長さ] として入力します。なお、カスタムサイズとして使用できる用紙の [幅] および [長さ] の範囲は、プリンタ本体、フィニッシャー構成、使用する給紙トレイにより異なります。

**5** [ページ属性] を選択して、[用紙サイズ] リストから追加したカスタム用紙サイズ名を選択します。必要に応じて [方向] を指定します。



**6** [OK] ボタンをクリックしてページ設定ダイアログを閉じます。



**HITACHI**  
Inspire the Next